

特集

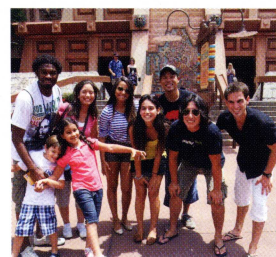
星城大学の 個性的なグローバル推進の話題



① 大華科技大學との協定改訂 台湾大華科技大學にて



③ 星城版 SGH 中・高特別講演会 (次号掲載予定)



④ フロリダ WaltDisneyWorld



② UCF 近郊 シェアハウス



⑤ UCF キャンパス内

- ① 大華科技大學 (台湾) 星城大学姉妹校 協定改訂調印式に参加した石田直城理事 (協定書左側)
- ②・⑤ UCF アメリカセントラルフロリダ大学 星城大学提携校
- ③ NASA 元宇宙飛行士による中・高特別講演 (星城高校にて)
星城版 SGH: 星城高校の特色を取り入れ独自に SGH (スーパーグローバルハイスクール) を進化させた事業
- ④ UCF 近郊のフロリダ WaltDisneyWorld で友人と遊ぶ留学生の竹本さん (2 頁で紹介)

グローバルの先に

我々一人ひとりが、自身の文化を学び、相手の文化を尊重する。そして宇宙から地球を眺めるように、お互いを俯瞰し、お互いが幸せになる術を導きあう。それがグローバル。

ぶれることなく涵養し続ける学園訓 “彼我一体” “世界観の確立”。今正に“グローバル化”という言葉が本学園に追いつこうとしています。

CONTENTS

01	ダイバーシティ
01	外国人留学生の活躍

02	留学経験者は語る
02	海外インターンシップ
03	平成 25 年度 学園財務情報



ダイバーシティ

【ダイバーシティ (diversity)】

- ・多様性 相違点
- ・企業で人種、国籍、性、年齢を問わず人材活用すること

全学生数に占める留学生割合 (H25.5.1 現在)

国名	国別割合	留学生割合
中国	9.1%	13.4%
モンゴル	1.4%	
韓国	1.2%	
ベトナム	1.0%	
台湾	0.4%	
米国	0.1%	
インドネシア	0.1%	
ネパール	0.1%	

星城大学では、学長補佐 3 名に、米国人 1 名、女性 (日本) 1 名、男性 (日本) 1 名と人種・性別の垣根無く、運営に多様な意見が反映される仕組みを早くから取り入れています。

学生は、8 力国を超える国から留学生が集まり、学生数に占める留学生割合は 1 割を超え、学食では各国の言葉が飛び交う風景が、当たり前となりました。

また、平成 25 年度卒生では、16 名もの留学生が日本での就職を実現しており、日本と世界を繋ぐグローバル人材の育成に貢献しています。



外国人留学生の活躍

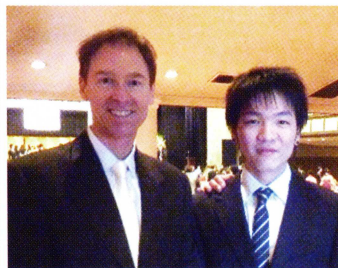
レーシングチーム「無限」率いる (株) M-TEC で活躍のcockさん (H22 卒) にお話を伺いました。現在は、中国語、英語、日本語を駆使してレーシングパーツの国内外への供給や、レース運営を任されている若手期待の☆です。

夢を追いかける留学生

「最近のアジアにおけるモータースポーツ人気の急上昇は、目を見張るものがあり、将来は日本で培った技術やノウハウを駆使して世界を相手にした、自動車関連の国際ビジネスを立ち上げたい。それも母国マレーシアで。」と夢を語るcockさん。

星城大学では、起業の基礎となる経営学と人としての思いやりを、多くの学友や先生から学んだという。

cock・リャン・シェンさん (27 歳)
 平成 22 年度星城大学経営学部卒
 出身：マレーシア
 就職先：(株) M-TEC (埼玉県)



H22 年度卒業式
左 スナイダー先生 右 cockさん



日本人との競争 就活

「日本の就活事情を全く知らず、途方に暮れていた僕を助けてくれたのが、大学職員の皆さん。そのお陰で、カイコクシンではなく、日本人学生と同じ募集枠を争い、突破することができました。」

cockです ^_^;



学友と記念撮影

お客さんの笑顔が最高

「母国マレーシアでの起業を目標に『石の上にも三年』に習い、日本の商習慣を毎日勉強していますが、納期など時間の正確さは、日本の武器であり注目しています。そしてもう一つの日本の良さは『お客様のため (奉仕・思いやり)』という思想だと思います。

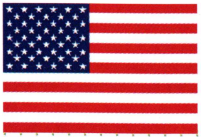
だから、弊社が手がけるエンジンを搭載したマシンが優勝したときの、お客様の笑顔は私の喜びであり、かけがえのない宝物です。」

最後に、伝えたいこと

遠く離れて暮らす家族へ。

「日本への留学、就職を心から応援してくれて、ありがとう。」

母校の皆さんへ。「相手の文化を尊重しコミュニケーションの大切さを教えてくれて、ありがとう。」



留学経験者は語る

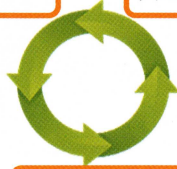
2012年4月から翌年2月まで、アメリカセントラルフロリダ大学（UCF 学生数全米2位）へ留学した竹本潤也さんに、世界から見た日本や、留学したからこそ気づいた日本人の誇りについてお話を伺いました。

竹本潤也さん（23歳）
星城大学経営学部4年生
留学プログラムに魅力を感じ星城大学へ入学



会話を楽しむ

友達が増える



英語力UP

日本語脳から英語脳へ

「留学前は語学力に自信がなかったけど、友達が増えるたびに話が通じるようになり、世界が広がりました。」

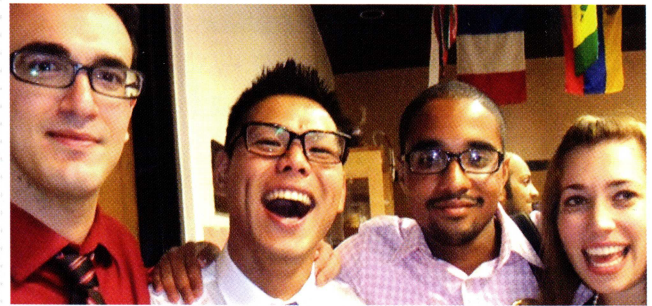
「日本語で考え英語で話すから、英語で考え英語で話すようになった」ことに、本人は成長を実感したようです。

外から見た日本 東日本大震災

「電気製品の長期保証、国民皆保険制度、月給以外のボーナス制度等、日本の当たり前が世界では違うことを知りました。その中で、東日本大震災での日本人のモラルの高さに対する驚きと賞賛の音が印象的でした。救援物資配給所での、混乱することなく整然と列を作って待つ被災者の方たち。

ある友達は、略奪があって当たり前だと言い、文化の違いを知ると共に、日本人であることの誇りを感じました。」

左から2人目：竹本さん UCF 終業式 友人と



【将来の夢】

- ・留学経験を生かし、MBAを取得し、独立・起業する
- ・世界各国の美しい風景をみたい

本年度よりスタート
最新の留学プログラムを紹介！



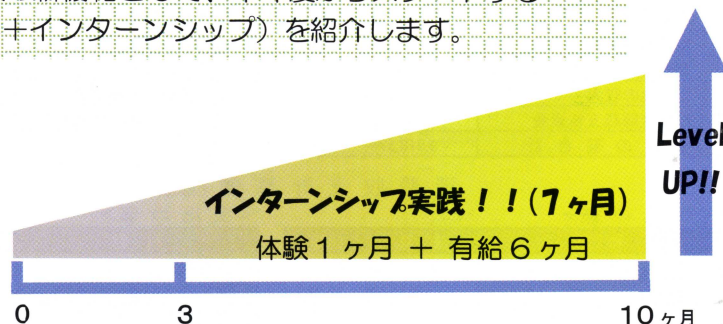
海外インターンシップ

就職活動でよく耳にするボランティアとインターンシップ。どちらも学外での社会経験又は社会貢献度の指標として、就職時の評価ポイントの一つに定着しています。

今回は、本学グローバル化の一翼を担う留学プログラムの新機軸として、本年度からスタートする「オーストラリアインターンシップ（10ヶ月）」（留学+インターンシップ）を紹介します。

新留学プログラムのポイント

- その1) 希望者全員対象（語学力不問）
- その2) 4年間で卒業（帰国後3年生進級可）
- その3) 就職活動に有利
- その4) 海外で仕事体験ができる（有給）



建学の精神とグローバル

国際化は知識（語学、技術他）、道具（インターネット他）を活用して、他国との交流を図ることでありますが、グローバル化は、その上でどちらの立場でもなく、世界的・地球的にものごとを俯瞰し、みんなが幸せになることを目指す。まさしく学園訓の「彼我一体、世界観の確立」ではないでしょうか。

本学園は、「彼我一体 世界観の確立」の実現にむけ、これからもグローバル化の先頭を走り続けます。

東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と協定を締結しました



2020年の東京オリンピック・パラリンピック組織委員会と星城大学は、オリンピック教育の推進や大会機運の醸成等の取組みを進めるため、平成26年6月23日 連携協定を締結しました。

連携内容の一つとして、「オリンピックムーブメントの推進及びオリンピックレガシーの継承に関する連携」が掲げられました。

オリンピックレガシー（遺産）の継承とは、開催に向けて推進される、施設・インフラ整備による人々の暮らしに関わる利便性の向上だけではなく参加することに意義がある」に秘められた精神の継承も重要です。

星城大学には、この精神面のレガシー継承が強く求められており、オリンピックを題材とした授業展開も視野に入れ、オールジャパンの一員としてオリンピック成功に向け協力してまいります。

平成25年度 学園財務情報（決算の概要）

資金収支計算書（単位 千円）

<収入の部>

科目	決算	比率
学生生徒納付金収入	2,243,799	23.6%
補助金収入	762,280	8.0%
前受金収入	516,222	5.4%
事業収入	66,104	0.7%
手数料収入	111,475	1.2%
寄付金収入	30,483	0.3%
その他の収入	3,945,429	41.5%
前年度繰越支払資金	1,837,782	19.3%
収入の部合計	9,513,574	100.0%

<支出の部>

科目	決算	比率
人件費支出	2,288,912	24.1%
教育研究経費支出	518,313	5.4%
管理経費支出	300,341	3.2%
施設関係支出	525	0.0%
設備関係支出	24,473	0.3%
その他の支出	5,169,442	54.3%
次年度繰越支払資金	1,211,568	12.7%
支出の部合計	9,513,574	100.0%

- 資金収支計算書は、その年度の学園の諸活動に対応する収入および支出のすべて、並びにその年度における支払資金の収入および支出の状況を明らかにするためのものです。そのため消費収支計算書とは異なり、次年度の収入となる前受金収入や、施設設備に関する支出および借入金返済支出など資産・負債の振替、資金運用等についても計上されています。
- 消費収支計算書は、収支の均衡の状態とその内容を明らかにすることによって、学園の経営状態を把握するためのものです。そのため、資産・負債の振替等にもなう収支などは除かれ、また退職給与引当繰入額、減価償却額、資産処分差額、現物給与等、資金の収支を伴わない金額が計算されたうえで年間収支をとらえています。
- 貸借対照表は、平成26年3月31日現在の財務状況を示すものです。

消費収支計算書（単位 千円）

<収入の部>

科目	決算	比率
学生生徒納付金	2,243,799	65.7%
補助金	762,280	22.3%
事業収入	66,104	1.9%
手数料	111,475	3.3%
寄付金	36,857	1.1%
その他	195,133	5.7%
帰属収入合計	3,415,648	100.0%
基本金組入額	△ 20,316	—
消費収入の部合計	3,395,332	—

<支出の部>

科目	決算	比率
人件費	2,303,967	66.2%
教育研究経費	851,148	24.5%
管理経費	321,976	9.3%
その他	905	0.0%
消費支出の部合計	3,477,996	100.0%
当年度消費収入超過額	△ 82,664	—

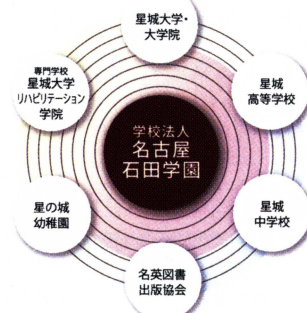
貸借対照表（単位 千円）

<資産の部>

科目	本年度末	比率
固定資産	17,128,079	90.7%
流動資産	1,751,525	9.3%
資産の部合計	18,879,604	100.0%

<負債の部、基本金の部、消費収支差額の部>

科目	本年度末	比率
固定負債	526,528	2.8%
流動負債	1,014,617	5.4%
基本金の部合計	17,329,513	91.8%
消費収支差額	8,946	0.0%
合計	18,879,604	100.0%



学校法人
名古屋石田学園

〒460-0008
名古屋市中区栄1丁目14番32号
Tel : 052-221-8921
Fax : 052-203-5243
URL: <http://www.n-ishida.ac.jp/>
E-mail: main@n-ishida.ac.jp